

マルチ点火コイル量産

11000秒で複数回放電

ダイヤモンド
HDエレ

ダイヤモンドエレ
トリックホールディ
ングスは、自動車の低燃
費化につながる小型の
マルチ点火コイル(写
真)の量産を始めた。

1000分の1秒単位
で複数回の火花放電が
可能。高密度のコイル
構造を採用して小型化
しつつ、巻き線の仕様
とスイッチング素子を

最適化した。ダイハツ
工業が7月に発売する
新型「タント」のエンジ
ンに採用された。軽自
動車を中心に採用増を
目指す。



量産を始めたのは子
会社ダイヤモンド電機
の鳥取工場(鳥取市)。
従来の小型サイズのみ
ま、放電火花のエネル
ギーを1.5倍に向上

エンジンの搭載された。同
方式は従来より多い2
回の放電により、エン
ジンシリンダー内の炎
を早く成長させて燃焼
速度を速め、エンジ
ンを低燃費化する。

した。
ダイハツが日
本で初めて採用
した複数回点火
方式の新型エン